

感染制御部

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

○井上 考司;感染制御部長

【院内感染対策チーム(ICT)】

○井上 考司;院内感染対策チーム(ICT)委員長

<医局>

○本間 義人、渡邊 常太、佐藤 裕一、越智 史博、宇都宮 健

<看護部>

○濱田 理恵、中居 喜美枝

<看護部(ICN)>

○岩本 悟志、若林 美代子、宇都宮 麻美子、日野 恵子

<薬剤部>

○尾上 裕貴、古田 光平、明下 佳祐、上堂 莉穂、堀内 悠衣

<検査部>

○小平 美代子、川口 桃花

<事務局>

○山口 雅彦

【抗菌薬適正使用支援チーム(AST)】

○本間 義人;抗菌薬適正使用支援チーム(AST)委員長

<医局>

○井上 考司、越智 史博

<看護部>

○岩本 悟志、若林 美代子

<薬剤部>

○是永 壮史、末廣 拓、新居田 能章

<検査部>

○村上 悠里子

<事務局>

○山口 雅彦

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
ICD 制度協議会インフェクションコントロールドクター	井上考司、渡邊常太、越智史博、佐藤裕一
日本感染症学会感染症専門医	井上考司、本間義人、越智史博
日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医	渡邊常太
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育医	渡邊常太
日本小児感染症学会小児感染症認定医	越智史博
日本小児感染症学会小児感染症認定指導医(専門医)	越智史博
日本化学療法学会抗菌薬化学療法認定医	越智史博
感染制御認定臨床微生物検査技師制度協議会感染制御認定臨床微生物検査技師	村上悠里子
日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師	末廣拓
日本看護協会感染管理認定看護師	岩本悟志、日野恵子、宇都宮麻美子、若林美代子

3. 運営方針

感染制御部は、病院感染の防止に留意し、感染症発生の際には、拡大防止のためその原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることを目的とし、院内感染対策チーム(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)がその実践を担っています。

(1) 院内感染対策チーム(ICT)

医療関連感染の予防、早期発見、拡大防止のため、調査・指導・啓発・周知徹底を促し、病院全体の感染対策の充実に努めます。

(2) 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

薬剤耐性対策として、抗菌薬の使用状況の把握と適正使用に向けた推進活動、感染症診療の支援活動を行います。

4. 実績

【ICT 実績】

(1) 会議：毎週1回(計50回)開催

① 微生物検査技師

MRSA、薬剤耐性菌、血液、カテーテル先端培養陽性患者、結核菌や食中毒菌等、その他重要な微生物の検出状況を報告しました。

② 薬剤師

抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬を長期使用(14日以上投与)した症例、広域抗菌薬投与症例について報告しました。

③ 医師

上記の報告を基にラウンドを実施し、報告しました。

・ MRSAラウンド:189件

・ ESBL産生菌ラウンド:158件

・ MDRPラウンド:3件

・ CREラウンド:0件

④ ICN

ラウンド結果やコンサルテーションほか、感染管理に関わる事項について報告しました。

(2) ICT 環境ラウンド:毎週(計50回)

病棟部門は月1回以上、それ以外の部門は2か月に1回以上、4職種でラウンドを実施し、ラウンド後に結果を報告しました。

(3) 感染症対応

薬剤耐性菌、クロストリディオイデス・デフィシル感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、その他院内感染対策上問題となる微生物が検出された場合などに、関連部署への情報共有と指導を行いました。

(4) 職員教育の実施

- ・ 感染対策研修会の企画・運営
- ・ 感染対策リンクスタッフ会の運営(年9回)

(5) 院内感染対策マニュアルの改訂

(6) 医療関連感染サーベイランスの実施

- ・ 手術部位サーベイランス(消化器外科、心臓血管外科)
- ・ 中心ライン関連血流感染サーベイランス(全病棟)
- ・ カテーテル関連尿路感染サーベイランス(全病棟)
- ・ 人工呼吸器イベントサーベイランス(重症部門)
- ・ 厚生労働省感染症サーベイランス(手術部位感染部門、NICU部門、検査部門入院患者部門)
- ・ 薬剤耐性菌、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の病原体・感染症サーベイランス
- ・ 手指消毒剤払出量サーベイランス
- ・ 針刺し・切創、血液・体液曝露サーベイランスの実施

(7) 職業感染防止策の実施

- ① 各種抗体価検査とワクチン接種
 - ・ 新規・中途採用者に対するB型肝炎ウイルス抗体検査の実施
 - ・ 新規・中途採用者に対する麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査の実施
 - ・ B型肝炎ウイルス、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体陰性者のリストアップと対象者へワクチン接種の実施
 - ・ 全職員を対象にインフルエンザワクチン、新型コロナワクチン接種の実施
- ② 結核曝露後対応
 - ・ 結核曝露事例:1例
- ③ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露後対応
 - ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露事例:21事例

(8) 標準予防策・経路別予防策の遵守向上への取り組み

- ・ リンクスタッフによる、各部署での手指衛生遵守率向上に向けた取り組み

(9) 感染対策向上加算 2(南松山病院、松山まどんな病院)、感染対策向上加算 3(松山西病院、あずま泌尿器科クリニック)算定施設との合同カンファレンスの開催

＜実施日と主なテーマ＞

- ① 2025年3月4日(2024年度 第4回)
 - ・ 手指衛生について
 - ・ 微生物検査状況について
 - ・ 抗菌薬使用状況について
- ② 2025年5月13日(2025年度 第1回)
 - ・ 手指消毒剤使用量について
 - ・ ラウンド指摘事項の改善状況、各施設の活動について
 - ・ ミニレクチャー「手指衛生の5つの瞬間と手袋の使用についての基本的事項」
- ③ 2025年9月30日(2025年度 第2回)
 - ・ 松山西病院の院内ラウンド
- ④ 2025年12月2日(2025年度 第3回)
 - ・ 松山まどんな病院の院内ラウンド
 - ・ 新興感染症の発生を想定した訓練

(10) 感染対策向上加算 2,3 算定施設への訪問指導

- ・ 松山西病院:2回(1月15日、9月30日)
- ・ あずま泌尿器科クリニック:1回(2月25日)
- ・ 松山まどんな病院:1回(12月2日)

(11) 感染対策向上加算 1 算定施設との相互評価

- ・ 評価実施:① 2月12日 愛媛大学医学部付属病院
②12月1日 愛媛医療センター

■ 感染対策(ICT・AST)研修会

開催日	テーマ	講師	対象者	参加
1月20日～ 3月31日	令和6年度第2回院内感染対策研修(e-learning) 「成人の予防接種」	感染症内科 本間義人	全職員	1,551名
3月14・17日	令和6年度第2回院内感染対策研修(動画視聴) 「成人の予防接種」	感染症内科 本間義人	愛媛ホスピタルパートナーズ、協力企業	180名
10月21日～ 12月19日	令和7年度第1回院内感染対策研修(e-learning) 「新型コロナマニュアル改定の概要」	感染管理認定看護師 岩本悟志	全職員	1,563名
2月3日～ 3月31日	令和7年度第1回抗菌薬適正使用に関する研修(e-learning)「抗菌薬について」	抗菌薬適正使用支援チーム 薬剤師	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	1,165名
2月3日～ 3月31日	令和7年度第2回抗菌薬適正使用に関する研修(e-learning)「血液培養採取時の皮膚消毒について」	感染管理認定看護師 岩本悟志	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	1,165名
4月2日	新規採用者等オリエンテーション 「院内感染防止対策」	感染管理認定看護師 岩本悟志	新規採用、転入職員	
4月17日	新規採用看護職員Ⅱ期研修「標準予防策」	感染管理認定看護師 岩本悟志	新規採用看護師	
5月7日	検査部学生オリエンテーション「院内感染対策」	感染管理認定看護師 岩本悟志	検査部実習生	
8月21日	夜間看護補助者会 「手指衛生と個人防護具の着脱」	感染管理認定看護師 日野恵子	夜間看護補助者	
9月18日	夜間看護補助者会 「感染性廃棄物の取り扱いと環境整備」	感染管理認定看護師 日野恵子	夜間看護補助者	
10月6日	県立病院看護補助者研修「感染予防対策」	感染管理認定看護師 日野恵子	看護補助者	
5月26日	リンクスタッフ学習会 「手指衛生遵守率向上に向けた多角的戦略」	感染管理認定看護師 岩本悟志	院内感染対策リンクスタッフ	31名
7月28日	リンクスタッフ学習会「接触予防策について」	感染管理認定看護師 岩本悟志	院内感染対策リンクスタッフ	29名
10月27日	リンクスタッフ学習会 「CVCドレッシング材交換時の感染対策」	感染管理認定看護師 岩本悟志 感染対策リンクナースコア会メンバー	院内感染対策リンクスタッフ	22名
10月17日	研修医勉強会 「インフルエンザワクチン接種について」	感染管理認定看護師 岩本悟志	研修医	

【AST実績】

(1) 抗菌薬適正使用支援に係る実績

- ① 感染症治療の早期モニタリングにおいて主治医へのフィードバックを行った件数:598件(ASTへのコンサルテーション件数+血液陽性ラウンド対象患者件数+TDM実施件数)
- ② ①のうちフィードバックの結果、抗菌薬の適正使用につながった件数:568件

(2) 会議:毎週1回(計50回)開催

① 微生物検査技師

耐性菌検出状況の報告、血液培養陽性事例のラウンド依頼、アンチバイオグラム作成等を実施しました。

② 薬剤師

同一抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬を14日以上長期投与した症例、広域抗菌薬投与症例をリストアップし、抗菌薬使用状況を報告しました。

③ ICD

上記の報告を基にラウンドを実施し、報告しました。

- ・血液陽性者ラウンド:449件/年
- ・ASTコンサルテーション:171件/年

④ ICN

ラウンドやコンサルテーションに関わるモニタリング、介入状況について確認しました。

(3) 研修開催

ICT と共催で研修会を開催しました。

(4) アンチバイオグラム

■ グラム陽性球菌

感受性率 0～49%: 50～79%: 80%～:

菌/薬剤	株数	PCG	ABPC	AMPC	CEZ	IPM	MEPM	GM	ABK	EM	CAM	CLDM	MINO	VCM	TEIC	LZD	FOM	OFLX	ST	CTX	CTRX
MRSA	359	0			0			67	100	20		38	81	100	100	100	92		100		
MSSA	757	45			100			70	100	83		90	99	100	100	100	100		100		
MRSE	56	0			0			39	100	42		56	96	100	88	100	61		87		
<i>Enterococcus faecalis</i>	456	100	100							10			27	100	100	99					
<i>Enterococcus faecium</i>	128	21	21							19			49	100	100	99					
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	58	57		80		68	68			23	27	27		100	100	100		100	74	84	92

注)2025.1.1～2025.12.31 ※1 か月、1 患者、1 材料を 1 件として集計

■ グラム陰性桿菌

菌/薬剤	株数	ABPC	PIPC	CEZ	CTM	CPDX	CTX	CFPM	CAZ	CMZ	IPM	MEPM	ACV	GM	AMK	MINO	FOM	CPFX	LVFX	ST	CTRX	CDTR	SBTA	CAM
<i>Escherichia coli</i>	951	65	73	94	96	93	96	100	95	96	100	100	89	95	100	95	99	65	60	86				
<i>Escherichia coli</i> (ESBL)	261	0	0	0	0	0	0	0	0	93	99	100	79	89	100	93	98	11	9	59				
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	399	0	1	97	98	99	99	100	98	97	100	100	97	99	99	88	67	89	86	90				
<i>Klebsiella oxytoca</i>	126	0	5		99	100	100	100	100	100	100	100	90	100	100	98	70	94	93	96				
<i>Klebsiella varicola</i>	14	0	8	100	100	100	100	100	100	100	100	100	92	100	100	92	54	100	92	100				
<i>Klebsiella pneumoniae</i> (ESBL)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	100	75	75	100	75	50	25	0	75				
<i>Klebsiella aerogenes</i>	84	0	83		0	80	80	100	83	0	47	100	0	100	100	98	50	97	97	100				
<i>Enterobacter cloacae</i> complex	215	1	80		1	70	78	100	82	1	91	100	1	100	100	93	32	95	93	97				
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	340		85		0		1	93	92		94	95		92	97			94	88					
<i>Ps.aeruginosa</i> (ムコイド型)	12		92		0		0	92	92	0	91	92		92	100			92	83					
<i>Ps.aeruginosa</i> (MDRP)	3		0		0		0	33	33		0	0		0	0			0	0					
<i>Haemophilus influenzae</i>	56	67			74		100	91			100	80				70		100	100	65	100	100	76	80
<i>Haemophilus influenzae</i> (BLNAR)	38	0			24		100	66			100	37				61		95	100	63	100	97	11	63

※CEZ:CLSI M100-S29 ドキュメントに従い、*E.coli*、*Klebsiella* は尿検体の判定基準を採用

※*Klebsiella pneumoniae* (ESBL): 菌株数が規定以下のため参考値

注)2025.1.1～2025.12.31 ※1 か月、1 患者、1 材料を 1 件として集計

5. 2026 年度目標

(1) ICT

医療関連感染サーベイランスや院内ラウンドにより、院内の感染対策の現状把握と改善に努め、アウトブレイクの早期発見・介入を行います。

- ・職業感染予防に努め、職員の安全を守ります。
- ・病院職員・患者さんへ感染対策に関する啓発・指導・教育を実施します。
- ・感染対策に関する各種コンサルテーションに対応し、問題解決に向けて取り組みます。

(2) AST

- ・各種ラウンドやモニタリング等により、抗菌薬の適正使用を推進します。
- ・院内の抗菌薬使用状況の把握に努め、耐性菌の保有圧を下げます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 村上悠里子. 当院における耐性菌検出状況について. 外来感染対策向上加算講習会. 松山 (2025.9.3)